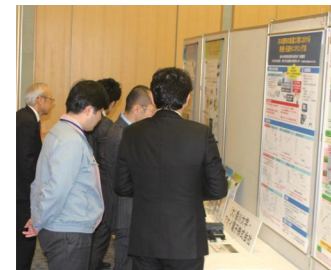


“知的財産を守る・生かす”をサポート

(公財)かがわ産業支援財団

異分野や海外からの市場参入など産業を取り巻く環境が変化中、自社の持つ技術・技能、ノウハウを把握・活用し、競争力を高めることが企業の成長につながります。

財団が設置する「香川県知財総合支援窓口」は、アイデア段階から事業展開まで、知的財産のあらゆる悩みや課題の解決に向け、弁理士や弁護士などと協働してワンストップでサポート。新商品開発や新たな事業展開を模索する企業に向け、開放特許を保有する大企業などとの「知財マッチング」や「かがわ知財経営塾」も開催しています。



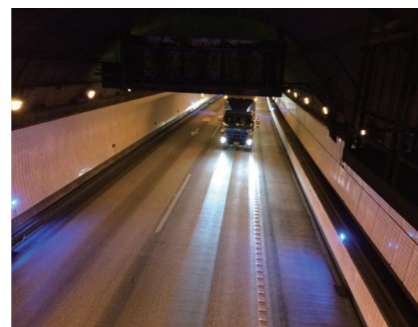
昨年度の「知財マッチング」での技術パネル展

知的財産に関して悩みや課題がある方や、経営の中で知的財産を活用したい方は、お気軽にご相談ください。

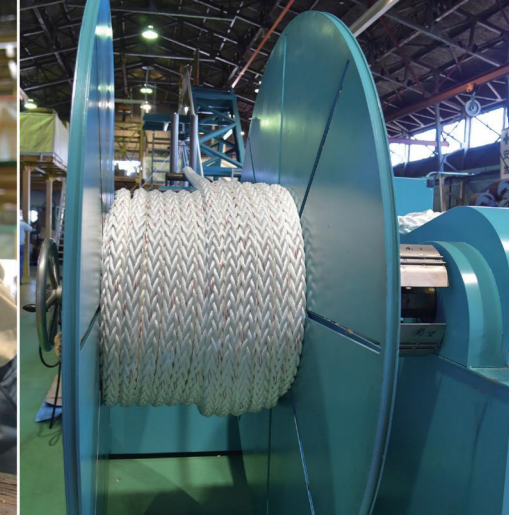
(公財)かがわ産業支援財団 知的財産支援部
☎087-867-9332
高松市林町2217-15 香川産業頭脳化センタービル2階
<http://www.kagawa-isf.jp/sien/chizai/>



船舶用イルミネーションロープ



高速道路渋滞緩和ペースメーカーライト



独自の新技术を確立・拡大する提案力の両輪が必要だと感じました。ロープの性能は糸そのものの機能に左右されます。糸にさまざまな特殊性を持たせて他にはない高性能なロープを打ち出し、これまでロープを使うという発想がなかった分野を積極的に開拓していくのが今の課題です」。社内でも取り組む研究テーマの豊かさは日本有数と自負します。

常に実用化が前提

近年の大きな成果は、海洋研究分野での用途を前提とする新しい高性能繊維ロープです。2017年、県産業技術センターや(国研)産業技術総合研究所と共同で、樹脂と繊維を一体化する表面処理技術を確立。耐久性と撥水性を兼ね備えた独自商品の開発に成功しました。

「糸そのものの良さを引き出しつつ、樹脂と繊維を一体化させること



高木敏光社長

ね。そこを目指す努力が、製品機能の向上とマーケットの拡大につながると思っています」と、力強く語ってくれました。部門の枠を超えて活躍できる人材育成にも注力しており、成長のスピードはさらに上がりそうです。

問い合わせ先
(公財)かがわ産業支援財団 産学官連携推進課
☎087-840-0338

で糸の弱点をカバーするんです。製品の評価基準も客観性のあるものでなくてはなりませんから、製造技術だけでなく試験評価の技術も新たに確立させました」という高木さんは、他社製品を含めた評価基準の一般規格化も見据えています。

新技术を生み出す過程は、従来商品の弱点を一つ一つ検証する作業でもありました。そこで得た見識から、また別の製品が誕生する可能性も広がっています。「あくまで実用化が前提。先端研究の周辺に独自の地位を築き、未知の分野でナンバーワンになりたいですね。そこを目指す努力が、



「よく社名の『綱』を『鋼』と間違われるんですよ」と笑う、高木敏光代表取締役社長。高木綱業の主力製品はロープで、原糸から織り上げる製造工場と、新分野開拓を目指す研究開発部門を備える自社一貫体制が強みです。

産業分野だけでなく、ホームセンタリーなどに並ぶ家庭向け商品から災害時に使われる縄ばしごまで幅広く製造。ほかにLEDを使った電子機器などを手掛けており、高速道路の

同社の歴史は64年前、船舶・水産用ロープ製造からスタート。合成繊維業界にイノベーションが起きた1980、90年代の大躍進を経て、高木さんが社長に就任した2010年代は同社にとって第二の変革期となりました。「価格競争が激化する中、市場ニーズに応える開発力と、



12打ロープ

挑戦する かがわの ものづくり企業

素材から製造・加工まで自社一貫で行う層の厚い体制と、先端研究と連携した柔軟な開発力。専門性を武器に全く新しい発想で自社製品の可能性を広げる、香川の企業を紹介します。

こうぎょう
高木綱業株式会社

住所 高松市林町278-1
創業 1954年
☎087-867-2701
<http://t2701.com/>



新しい分野を開拓した 高機能ロープ

国内でもレアな
ロープ専門メーカー

渋滞緩和ペースメーカーや豪華客船を彩るイルミネーションにも採用されています。